

フィジカルAIが拓く新たな巨大市場

次世代AI株式戦略ファンド

追加型投信/内外/株式

- 平素は『次世代AI株式戦略ファンド』(以下、当ファンド)に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
- 本レポートでは、当ファンドの運用状況についてご紹介します。

足元の投資環境

7月の世界株式市場は、米国とイランの緊張が再び高まったことに加え、企業によるAI需要の急拡大の持続性に対する慎重な見方が広がりました。特にAIインフラや半導体関連銘柄の調整が大きく、テクノロジー関連銘柄は軟調に推移しました。

AI関連分野では、巨額のAIインフラ投資に対する投資収益性や、企業によるAI利用の費用対効果が改めて意識されました。また、低コストながら高い性能を持つAIモデルの普及が進み、企業がAI利用コストの最適化を進めるとの見方も、AI関連銘柄の短期的な変動要因となりました。一方、月後半の企業決算では主要な半導体企業による設備投資の拡大や、ハイパースケーラーのクラウド事業の成長加速、AI関連ソフトウェア企業の売り上げ拡大などが確認され、AI需要の基調は引き続き堅調であることが示されました。

図表1 世界株式指数とS&P500種指数の推移

(期間:2025/6/9~2026/8/18、日次)



※世界株式指数:MSCI ACWI Index
※2025年6月9日(当ファンド設定日)を100として指数化(米ドルベース、配当込み)
(出所)Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

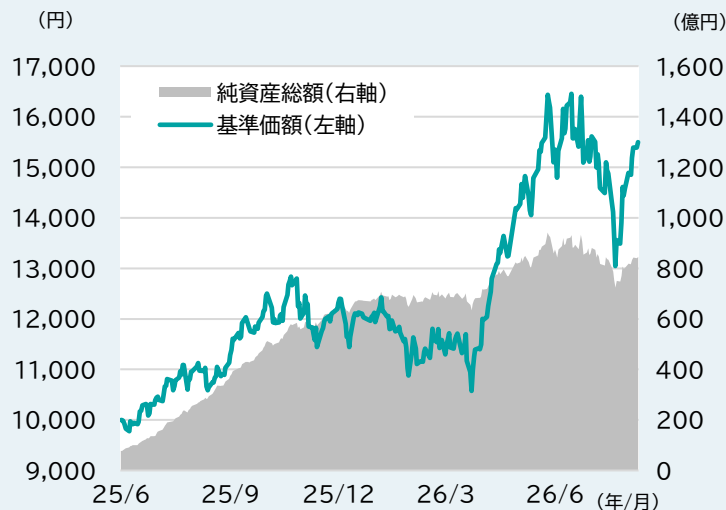
当ファンドの運用状況

7月の基準価額は約15.1%下落しました。当月はAIインフラ関連銘柄を中心に調整する市場環境となりました。クラウド・ネットワーク関連企業、ハイパースケーラー、AI向け半導体関連企業の一部がプラスに寄与しました。AIエージェントの普及を支えるネットワーク基盤への需要拡大に加え、クラウド事業の売上成長加速や、AI設備投資の投資収益性に関する前向きな開示などが評価されました。また、AI向け半導体分野では、AIアクセラレーター向け需要の拡大やメモリ供給確保に向けた動きが株価を支えました。

一方で、マイナスに影響したのは、メモリ、光通信、CPU関連企業などでした。メモリ関連企業では、AIインフラ関連銘柄の中でも特に足元にかけての株価上昇が大きかったことから、投資家の利益確定の動きが強まりました。光通信関連企業では、データセンター向け光ネットワーク需要そのものではなく、その成長が本格化する時期を巡る不透明感が株価の上値を抑えました。ポートフォリオでは、7月の決算発表を受けて半導体製造装置関連銘柄の保有比率を引き上げました。

図表2 当ファンドの基準価額と純資産総額の推移

(期間:2025/6/9(設定日)~2026/8/18、日次)



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後

NEXT GENERATION

フィジカルAIが生み出す新たな成長市場

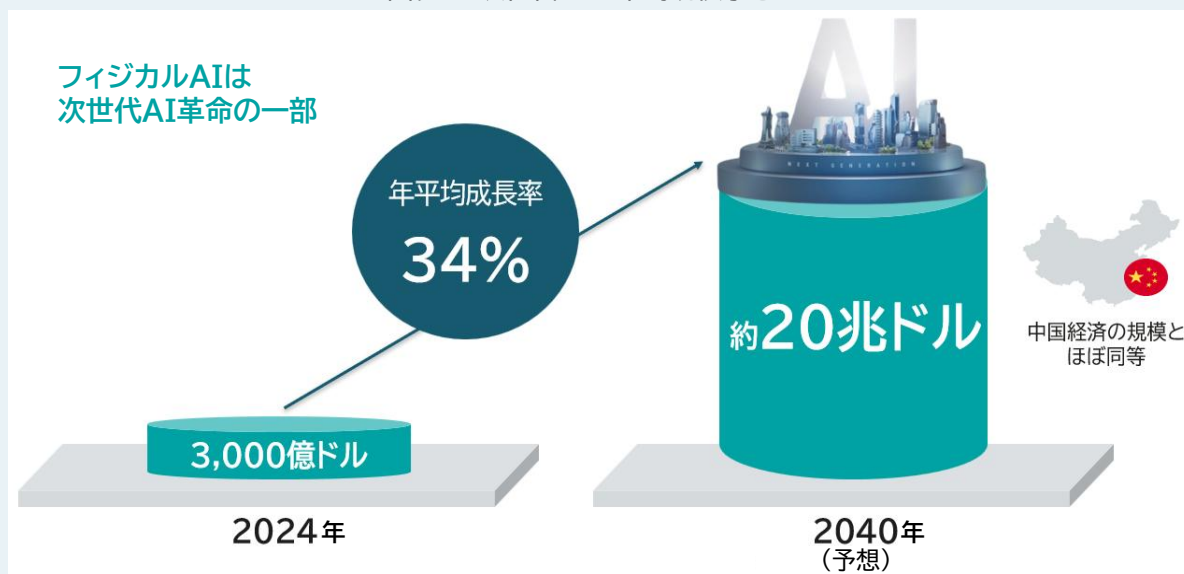
AIの活躍領域が現実世界へ

生成AIの登場をきっかけに、AIの活用は急速に広がってきました。文章や画像の生成、プログラミング支援などこれまで人が担ってきた多くの作業でAIの利用が進んでいます。

さらに、足元ではAIが自ら考え複数のタスクを実行するエージェントAIに加え、AIが現実世界を認識し、判断し、実際の行動につなげるフィジカルAIへの注目も高まっています。

ただし、重要なのはこれらが互いに置き換わるものではないという点です。生成AI、エージェントAI、フィジカルAIはそれぞれが相互に発展しながら、次世代AIエコシステムを広げていくと考えられます。

図表3 次世代AIの市場規模予想



(出所)BNPパリバ・アセットマネジメント(2026年4月30日時点)

AIが「現実世界」で動き始める

フィジカルAIとは、AIがカメラやセンサーなどを通じて現実世界を認識し、その情報を基に判断し、ロボットや自動車、機械などを実際に動かす技術です。

例えば、自動運転車が周囲の車両や歩行者を認識して走行することや、工場のロボットが周囲の状況に応じて作業内容を変えること、医療ロボットが高度な手術を支援することなどがその代表例です。今後は自動車や製造業だけでなく物流・医療・農業などさまざまな分野でフィジカルAIの活用が進むことが期待されています。

これまでAIの活用はソフトウェアやインターネットなどデジタル領域を中心に広がってきました。フィジカルAIの普及はAIが活躍する場をこれまでのデジタル空間から実体経済へと大きく広げる可能性があります。

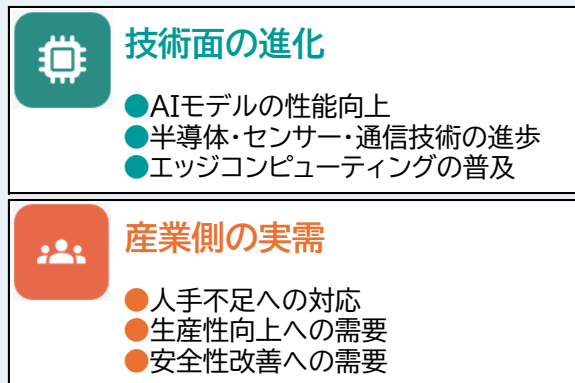
NEXT GENERATION

■ なぜ今フィジカルAIが注目されているのか

フィジカルAIが注目されている背景には、複数の技術革新があります。AIモデルの性能向上に加え、半導体の高性能化、センサーや通信技術の進歩、エッジコンピューティング(ネットワーク周縁(エッジ)部分でデータを処理するコンピューティング)の普及などによって、機械が周囲の環境をリアルタイムで認識し、判断するための技術が整いつつあります。同時に、企業側にもフィジカルAIを導入する明確なニーズがあります。製造業や物流、医療など多くの産業では人手不足への対応や生産性の向上、安全性の改善が重要な課題となっています。フィジカルAIはこうした現実の課題に対する解決策の一つとして期待されています。

つまり、フィジカルAIの拡大は単に「AIでできることが増えた」という技術面だけの变化ではありません。AIを必要とする産業側の需要とそれを実現する技術の双方が進化していることが新たな市場形成を後押ししています。

図表4 フィジカルAIが進化する背景



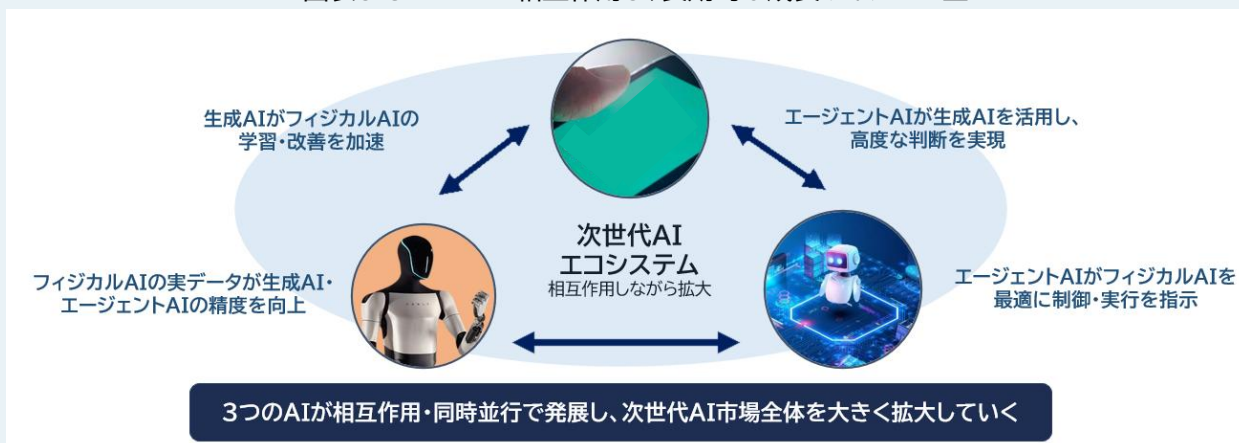
(出所)BNPパリバ・アセットマネジメント

■ AI市場に新たな成長領域が加わる

フィジカルAIの大きな意味はこれまでAI活用が限定的だった巨大な産業が、新たなAI市場となり得ることです。製造・物流・自動車・医療など、私たちの生活や経済活動を支える産業にAIが本格的に組み込まれるようになれば、AIの利用量そのものが増えるだけでなく、そのために必要となる半導体、ネットワーク、センサー、電力、ソフトウェアなどへの需要も拡大していくと考えられます。

フィジカルAIは、生成AIやエージェントAIに代わる新しい技術ではありません。これらと相互に発展しながら、AIの活用領域を現実世界へと広げ、新たな需要を生み出していく存在です。AI市場は、既存の領域が成長を続ける中で、フィジカルAIという新たな成長市場が加わることで、さらに裾野を広げていくことが期待されます。

図表5 3つのAIが相互作用し、長期的な成長サイクルを生む



※画像はイメージです。

(出所)BNPパリバ・アセットマネジメント

■ フィジカルAIの成長は幅広い企業に波及

フィジカルAI市場の拡大による恩恵は、ロボットメーカーや自動車メーカーだけに限られません。フィジカルAIを動かすためには、高性能な半導体や通信技術、センサー、エッジコンピューティング、電力などのインフラが必要になります。また、こうした技術を活用し、新たな製品やサービスを生み出す企業にも成長機会が広がっていくと考えられます。

つまり、フィジカルAIの普及は新たな産業を生み出すだけでなく、AIを支える企業からAIを活用する企業までバリューチェーン全体に新しい投資機会を生み出す可能性があります。

NEXT GENERATION

今後の運用方針 - 拡大するAI市場を次世代AI株式戦略で捉える

生成AIの普及に加え、エージェントAIそしてフィジカルAIへと次世代AIの活用領域は広がり続けています。フィジカルAIの登場によって製造、物流、医療などこれまでAI活用が限定的だった巨大な産業にも新たな需要が生まれることが期待されます。こうしたAI市場の広がりを捉える上で重要なのは、特定の技術や一部の企業だけを見るのではなく、AIの進化によって生まれる新たな成長機会を幅広く捉えることです。次世代AI株式戦略はAIを支えるインフラ企業とAIを活用して新たな価値を生み出すイノベーター企業の双方に投資することで、生成AI・エージェントAI・フィジカルAIを含む次世代AI市場の成長を幅広く捉えることを目指しています。フィジカルAIという新たな市場が加わりAIの活躍領域がさらに広がっていく今、次世代AI市場全体を見据えて投資する重要性はこれまで以上に高まっていると考えています。

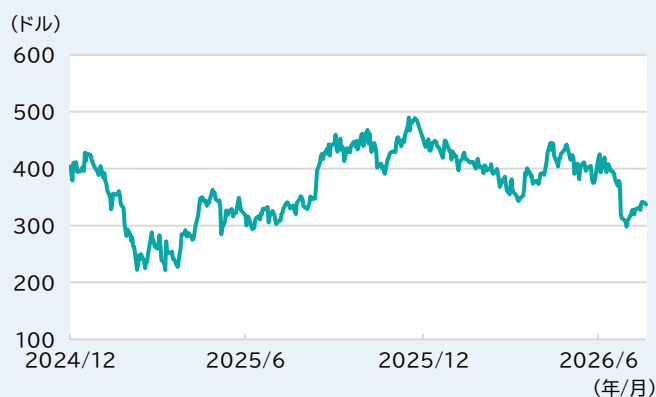
当運用チームでは、次世代AIを社会や産業の在り方を大きく変える「汎用技術」として位置づけており、今後も長期的な成長機会が続くと考えています。当ファンドは、今後数年間にわたるAI市場の成長機会を捉えることを目指しています。そして、市場環境に合わせて、次世代AIインフラと次世代AIイノベーターの双方に柔軟に投資することで、今後も次世代AI市場の成長を取り込んでまいります。次世代AI市場の発展にはインフラの進化は不可欠ですが、その価値を最終的に収益へと転換するのはイノベーター企業です。だからこそ私たちは、次世代AIの恩恵はインフラだけでなく、それにより収益化を実現する企業にも広がると考えており、両分野への投資を通じて中長期的な成長機会の獲得を目指します。

銘柄紹介

■ テスラ (米国、一般消費財・サービス)

同社は電気自動車を中心に、自動運転技術、ヒューマノイドロボットの開発を手掛ける企業です。自動運転技術やヒューマノイドロボット「Optimus」の開発を通じて、AIが周囲の環境を認識・判断し、現実世界で実際に行動するフィジカルAIの実用化を進めています。

図表6 テスラの株価推移
(期間:2024/12/31~2026/8/18、日次)



■ C.H.ロビンソン (米国、資本財・サービス)

同社は世界各地の荷主と運送会社をつなぎ、貨物輸送や物流管理サービスを提供する米国大手物流企業です。同社の保有する膨大な物流データとAIを活用し、貨物手配や輸送ルート最適化、業務自動化を進めることでAIが物流という実物経済のオペレーションを変革する動きを最先端に捉えています。

図表7 C.H.ロビンソンの株価推移
(期間:2024/12/31~2026/8/18、日次)



※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

(出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

販売会社一覧

2026年8月28日現在



受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
 なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
岡三ビジネス&テクノロジー証券株式会社	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

委託会社
お問い合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

次世代AI株式戦略ファンドに関する留意事項



投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因は、「カントリーリスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。

お客様にご負担いただく費用

- 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。
 - 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.2925%（税抜1.175%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×年率1.826%（税抜1.66%）程度
※実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料：監査費用〔純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）〕
有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料で使用しているインデックス>

- MSCI ACWI IndexはMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。